

デジタルICレコーダー WZ-DP200

概要

本機は音声（アナウンス）や音楽等をPCカードに録音し、それを再生する業務放送装置です。

PCカードの採用により、耐久性に優れ、長時間に渡る業務放送の音源として適しています。

注) PCカードは、「JEIDA Ver4.2 / PCMCIA Rel2.1」規格に準拠したものをご使用ください。また、本機で再生できるPCカードは、本機または同一フォーマットで録音されたものだけです。他の機器で録音されたPCカードの音源は再生できませんのでご注意ください。

- メカレスのため高信頼性を実現。
PCカードの採用でメカ駆動部がなくなったため、信頼性が高く、長時間の使用にも音質劣化がありません。また、再生時のレスポンスも早くなっています。
- 音声圧縮により音質重視や長時間の録音が可能
本機は音声を圧縮して録音します。音質重視、または録音時間重視など、用途に応じて圧縮レベルを選択し録音することができます。
- 簡易録音機能
メッセージをワンタッチで録音させる機能を搭載しています。
- マイク放送
マイクを接続して業務放送をすることができます。PCカードや外部機器の音声を放送中でも、それらの音量を自動的に小さくし、マイク放送を優先します。
- プログラムの修正に便利な編集機能
PCカードに録音されている音声や音楽などを編集し、1枚のPCカードに最大99のプログラムを設定することができます。（ひとつのプログラムには、最大99の音声や音楽を組み合わせることができます。）
- モニタースピーカー内蔵
外部アンプとスピーカーがなくても、PCカードに録音されている内容を確認することができます。
- RS-232C装備
プログラムコントローラーなどからの外部制御により、リモート再生ができます。
- キーロック機能
誤操作やいたづらを防止できるキーロック機能を搭載しています。

Copyright NTT 1996

著作権にご留意ください

市販されている楽曲をご利用になる場合は、楽曲、使用目的、使用形態などによっては、著作権法上、権利者の許諾を要する場合があります。許諾の要・不要は、場合によって異なりますので、詳しい内容については、「日本音楽著作権協会（JASRAC）」の本部または最寄りの支部へお尋ねください。

仕様

基本仕様

電源	AC100 V 50/60 Hz、またはDC24 V
消費電力	16 W (DC24 V駆動時は、約500 mA)
非連動コンセント	AC100 V 最大3 A
使用温度範囲	0° C ~ +45° C
寸法	420 (幅) × 44 (高さ) × 229 (奥行) mm
質量	約2.7 kg
仕上げ	前面パネル: AVアイボリー色塗装 (マンセル7.5Y6.8/0.8近似色) カバー : AVアイボリー色塗装処理鋼板 (マンセル7.5Y6.8/0.8近似色)

電気用品安全法技術基準に基づく表示です。

PCカード録音、再生

カード形式	PCMCIA 2.1 / JEIDA 4.2規格準拠 (Type またはType)
スロット	68ピン 16ビットPCカードインターフェース 2段 (5 V用カードのみ)
音声方式	705.6 kbps : fs = 44.1 kHz (高音質モード1) 352.8 kbps : fs = 22.05 kHz (高音質モード2) 64 kbps : fs = 44.1 kHz (アナウンスモード) 48 kbps : fs = 44.1 kHz (BGMモード: 初期値) 20 kbps : fs = 22.05 kHz (長時間モード)
メッセージ	PCカード1枚につき99メッセージ
プログラム	99プログラム (1プログラムあたり99ステップ、カードAのみ有効)

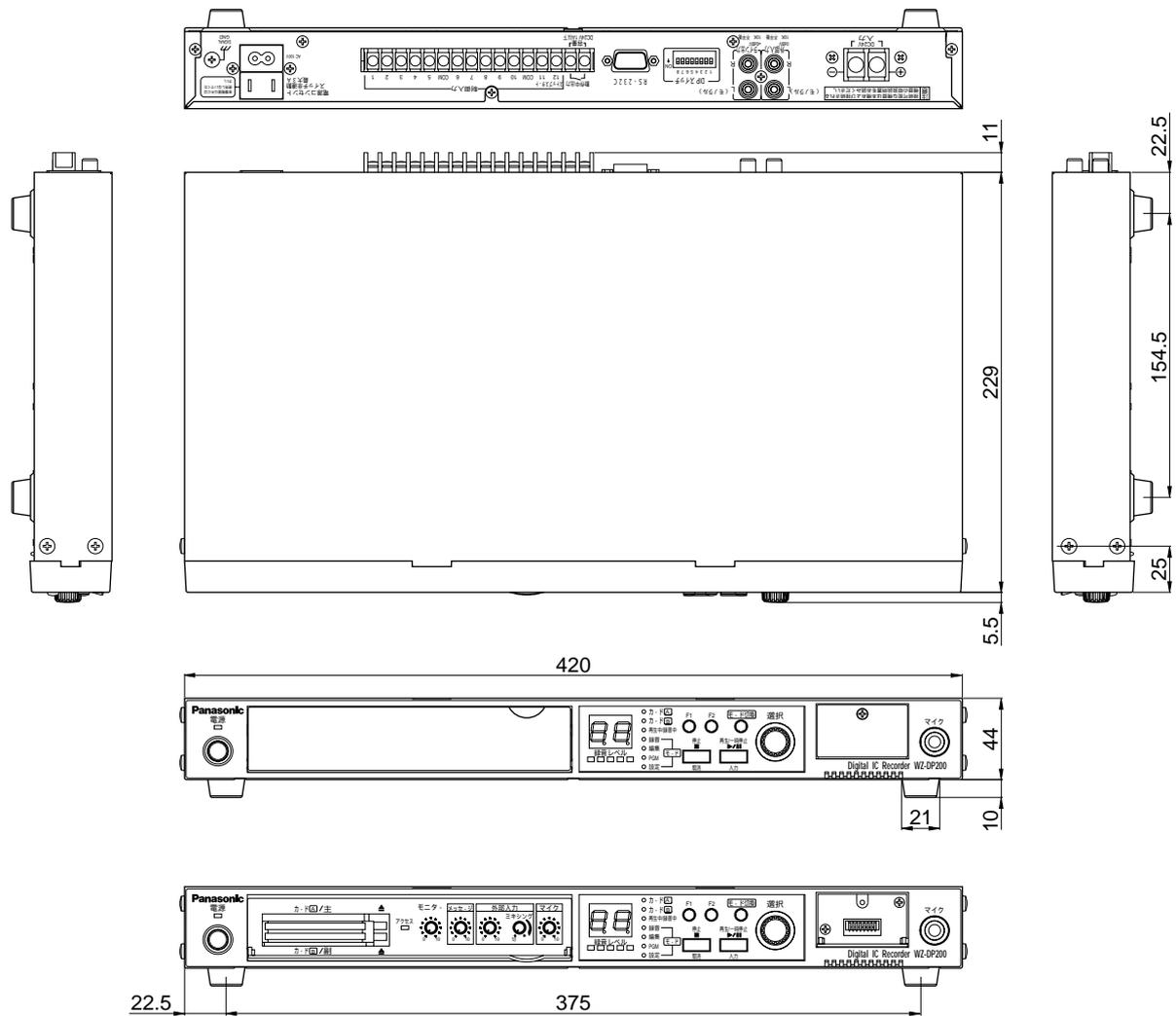
入出力

ライン出力	端子 : RCAピンジャック L、R (外部入力ステレオ、メッセージ音声モノラル) モノラル使用はL側のみ接続。モノラル出力 (L+R) 出力インピーダンス : 600 不平衡 (負荷インピーダンス10 k 以上) 出力レベル : +6 dBV (フルビット再生時) 周波数特性 : 20 Hz ~ 20 kHz、-1 dB ± 3 dB (705.6 kbps) S/N比 : 80 dB以上 (JIS-A) ひずみ率 : 0.09 %以下 (705.6 kbps)
外部入力	端子 : RCAピンジャック L、R (ステレオ) モノラル使用はL側のみ接続。モノラル入力 入力インピーダンス : 10 k 不平衡 入力レベル : 0 dBV ± 0.5 dBV (LINEOUT +6 dBV ボリューム最大)
マイク入力	端子 : モノラル6.3 標準ジャック 入力インピーダンス : 1 k 不平衡 入力レベル : -65 dBV (マイクボリューム可変)
制御入力端子 1~10、11 (スタート) 12 (ストップ)	ねじ端子、無電圧メイク接点およびオープンコレクタ出力に適合
動作中出力端子	ねじ端子、リレー出力DC24 V 1A (メイク)
RS-232C	端子 : 9ピンD-subコネクタ (後面) 通信速度 : 4800 bps
DC24 V入力端子	ねじ端子 (+、-)

付属品

電源コード	1	早見表	1
取扱説明書	1	保証書	1

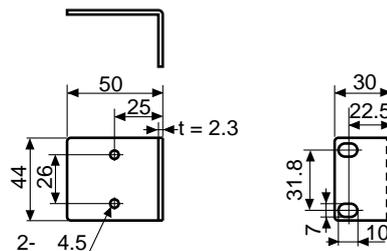
外觀寸法図



単位	mm
縮尺	1/4

別売工事部品

ラックマウント金具 WQ-LA44S [別売品]
(1セット 2個)



単位	mm
縮尺	1/4

機能

PCカードを用いた下記のような機能があります。

また、ディップスイッチの設定により、動作設定を切り換えることができます。

I. 編集機能

- プログラムコピー : 既存プログラムをコピーします。
 - プログラム番号変更 : プログラム番号を変更します。
 - プログラム削除 : 既存プログラムを削除します。
 - プログラムフォーマット : プログラムを全消去します。
 - 設定コピー : カード内の設定を別のカードにコピーします。
 - 設定フォーマット : 各設定値を初期値に戻します。
 - カードコピー : カード内容をコピーします。
 - カード内容全削除 : カード内容を全削除します。
 - メッセージコピー : 既存メッセージをコピーします。()
 - メッセージ番号変更 : メッセージ番号を変更します。
 - メッセージ削除 : 既存メッセージを削除します。
 - メッセージプロテクト : メッセージ番号変更やメッセージ削除ができないようにします。
 - メッセージ前部分削除 : 既存メッセージの前部分を削除します。
 - メッセージ後部分削除 : 既存メッセージの後部分を削除します。
 - メッセージ確認 : [選択] ダイアル操作でメッセージ内容の確認をします。
- () 楽曲のコピーは、著作権法上、同一の機械でのみ使用可能です。

II. プログラム作成機能

メッセージの再生順序などを割り付けるプログラム編集機能があります。

99のプログラム再生を編集することができます。1つのプログラムには、99のステップまで設定できます。

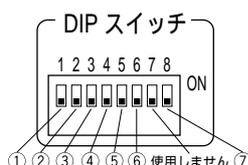
III. 設定機能

- 再生間隔設定 : 再生するメッセージ、プログラムの間隔を分単位で設定します。
- 再生回数設定 : メッセージおよびプログラムの繰り返し回数を設定します。
- 再生動作設定 : シャッフル(ランダム)再生など、再生動作を設定します。
- 電源投入時イベント設定 : 電源「ON」後、自動的に指定プログラムを演奏させます。
- フェードアウト時間設定 : 再生停止時のフェードアウト時間(0~9秒、秒単位)を設定します。
- 機能キー設定 : 前面F1,F2キーの機能動作を割り付けします。
- 制御入力端子設定 : 後面端子台のメッセージやプログラムの割り付けを設定します。
- 録音方式設定 : 録音するときの音声圧縮方法を設定します。

IV. その他

秒単位の再生間隔が必要な場合のために、無音メッセージ(0.2~30秒)をプログラムに設定できます。

V. DIPスイッチにより可能な機能切換



優先放送機能 (DIPスイッチ 1番)

本機の外部入力端子に機器を接続した場合、外部入力とPCカードのどちらの音声を優先して放送するかを設定します。

- ON : 外部入力端子に接続した機器の音声を優先して放送します。
- OFF : 本機(PCカード)の音声を優先して放送します。

AGC機能 (DIPスイッチ 2番)

本機で採用しているAGCは、大きな音量を一定レベルでカットする「リミッター方式」です。

- ON : AGC機能を使用し、録音レベル格差を平準化した再生をします。
- OFF : 録音時の音声をそのまま再生します。

バイナリー機能 (DIPスイッチ 3番)

制御入力端子「1」～「12」をバイナリー機能に切り換えます。このスイッチが「ON」のときは、DIPスイッチ4番、5番、6番の設定は無効になります。

- ON : バイナリー入力として機能します。
制御入力端子「11」、「12」は、「スタート」、「ストップ」端子として機能します。
- OFF : ダイレクト入力。制御入力端子「1」～「12」に信号が入力されると、その端子に割り当てられたプログラムが選択されます。

●バイナリー機能スイッチ「ON」時の動作

スタート端子を含め、99曲制御するには、10接点必要となります。

[制御入力端子「7」～「1」のパターン]

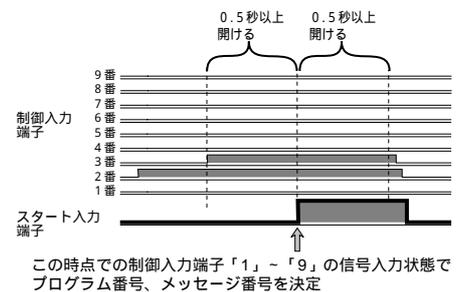
端子パターン	番号	端子パターン	番号
-----1	01	.	.
-----2	02	.	.
-----21	03	.	.
-----3--	04	7-5432-	94
-----3-1	05	7-54321	95
-----32-	06	76-----	96
-----321	07	76-----1	97
-----4--	08	76--2-	98
-----4-1	09	76--2-1	99

表の見かた
制御入力端子「2」、「3」を短絡し、
スタート端子を短絡すると、
「プログラム6」を実行します。

[制御入力端子「9」「8」のパターン]

端子パターン	意味
--	プログラムを実行
-8	カードAのメッセージを再生
9-	カードBのメッセージを再生
98	動作しない

プログラム、メッセージの切換えは、
制御入力端子「9」「8」で行います。



保持入力機能 (DIPスイッチ 4番)

制御入力端子とメッセージDIPスイッチの動作を設定します。

- ON : 保持再生で機能します。ただし、DIPスイッチ3番の設定が「ON」のときは機能しません。
- OFF : パルス接点で機能します。

「スタート」、「ストップ」端子機能 (DIPスイッチ 5番)

制御入力端子にある「11 (スタート)」、「12 (ストップ)」端子の機能を切り換えます。

- ON : 「スタート」、「ストップ」端子として機能します。
- OFF : 制御入力端子「11」、「12」として機能し、プログラムの割り当てができます。

保持再生終了形式 (DIPスイッチ 6番)

この設定は、DIPスイッチ4番の設定が「ON」のときのみ機能します。

- ON : 保持再生中、接点を解除した時点でフェードアウトして停止します。
- OFF : 保持再生中、接点を解除したときに放送していた音声の再生が終わり次第、停止します。

外部リセット機能 (DIPスイッチ 8番)

本機を外部機器からリセット (再起動) するときの設定です。制御入力端子にある「ストップ」端子をリセット信号入力端子に切り換えます。

- ON : ストップ端子がリセット信号入力端子として機能します。リセット信号入力端子を5秒間メイクすると本機がリセット (再起動) します。リセット動作には約20秒かかります。
カードアクセス中にリセットをかけるとカード内容を破損させてしまう場合がありますので、本機能を使用する際は、リセットをかけるタイミングに十分注意してください。
- OFF : ストップ端子または12番端子として機能します。

録音可能時間

録音方式 (サンプリング周波数)	録音総時間 ¹ (10MB当たり)	1メッセージの連続 録音可能時間 ²
高音質モード1 (非圧縮44 kFs)	1分50秒	6分
高音質モード2 (非圧縮22 kFs)	3分40秒	12分
アナウンスモード (44 kFs)	20分	10分
BGMモード (44 kFs)	27分	11分
長時間モード (22 kFs)	1時間5分	4時間

- 1 : 録音総時間は、10 MBのPCカードを使用した場合の参考時間を表しています。
20 MBのPCカードを使用した場合は2倍、40 MBのPCカードを使用した場合は4倍になります。
ただし、PCカードの品種や残容量によって、録音可能な総時間は若干異なります。
- 2 : 1メッセージの連続録音可能時間とは、ひとつのメッセージ (音声や音楽) を録音できる制限時間を表しています。従って、容量の大きいPCカードを使用しても、録音できる時間は変わりません。

電源ON / OFFによる動作とDC電源端子について

本機は、一度電源が切れて再度電源投入した場合、メッセージの途中から継続して再生せず、メッセージの先頭から再生されます。

放送中に停電・瞬時停電が懸念される場所に設置する場合は、停電対策として本機のDC24V入力端子と非常電源ユニット (WP-570B) を接続してください。